

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	プロジェクトワーク4	
科目基礎情報					
開設学科	CG映像科	コース名		開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	140時間
単位数	4単位			授業形態	実習
教科書/教材	参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	神野 秀美		実務経験の有無・職種	有・デザイナー	
学習目的					
実力を示す作品集としてデモリールとポートフォリオを仕上げ、3月1日の就職活動解禁に向けて準備をする。授業で習った作品課題以外にどれだけのボリュームをもって制作しているかが就職活動において大きく評価の分かれるところであるため、自主制作を中心に技術的側面の他、スケジュール管理などを総合的に学習することを目標とし、一つの成果を出す。3月に作品をまとめておくことでその後の更新が容易になることも周知する。					
到達目標					
この科目を受講する学生は、映像制作が協働の場であることを理解し、業界では部署によって異なる考え方やスキルが求められることを意識できるようになる。映像業界において働くとはどういう意義を持ち、どのような人間的資質が求められており、評価されるのかを理解できるようになるのが狙いである。自身の得意分野をいかにアピールできるか。そのために身につけるべきことを理解し、進路決定の実現に結びつける。					
教育方法等					
授業概要	これまで制作してきた動画・静止画等をまとめ、就職活動に備えてポートフォリオ制作およびデモリール制作を行う。追加の作品制作の時間とする場合もある。適宜レクチャーを交え進めていく。個別チェックを繰り返すことで修正、改善を指導する。				
注意点	就職活動開始時に自己の実力を提示できるものがある必要があることを理解すること。 授業時数の4分の3以上出席しない者は評価しない(不合格とする)。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	40%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%	実施しない		
	レポート	0%	実施しない		
	成果発表 (口頭・実技)	40%	3/1の就活イベントにおけるの発表方法、内容について評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	polygonオリエン		リール、ポートフォリオの作り方理解する		
2回	作成開始		個人のリール、ポートフォリオの作品内容とデザイン、レイアウトのベースを作成する		
3回	個別チェック		チェックを受け、改善点に気づくことができる		
4回	個別チェック		チェックを受け、改善点に気づき、反映させることができる		
5回	講義・個別チェック		実例を参照し、より良い作品集とは何かを理解する		
6回	reel紹介(1) 学生作品		参考作品をもとに、自分のリール、ポートフォリオの欠点を見つける		
7回	講義・個別チェック		チェックを受け、改善点に気づき、反映させることができる		
8回	reel紹介(2) プロ作品		参考作品をもとに、自分のリール、ポートフォリオの欠点を見つける		
9回	作業・個別チェック		作業・適宜個別チェック・追加作品の制作を通して更新する／作業によりツールの復習が行える		
10回	作業・個別チェック		作業・適宜個別チェック・追加作品の制作を通して更新する／作業によりツールの復習が行える		
11回	作業・個別チェック		作業・適宜個別チェック・追加作品の制作を通して更新する／作業によりツールの復習が行える		
12回	reelcheck(1)		作業・適宜個別チェック・追加作品の制作を通して更新する／作業によりツールの復習が行える		
13回	作業・個別チェック		作業・適宜個別チェック・追加作品の制作を通して更新する／作業によりツールの復習が行える		
14回	作業・個別チェック		作業・適宜個別チェック・追加作品の制作を通して更新する／作業によりツールの復習が行える		
15回	reelcheck(2)		作業・適宜個別チェック・追加作品の制作を通して更新する／作業によりツールの復習が行える		
授業計画（16回～18回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
16回	作業・個別チェック		作業・適宜個別チェック・追加作品の制作を通して更新する／作業によりツールの復習が行える		
17回	作業・個別チェック		作業・適宜個別チェック・追加作品の制作を通して更新する／作業によりツールの復習が行える		
18回	発表・講評		発表・講評を通して伝達力と改善点を見つける力を身に付ける		